

会議録

会 議 名	平成30年度 第2回芦別市いじめ問題対策連絡協議会		
年 月 日	平成31年3月1日(金)	時 間	18:00~19:15
場 所	芦別市民会館 2階 中ホール		
出 席 者	<p>出席委員(11名) 大村委員、松井委員、山田委員、西村委員、中村委員、福島委員 平手委員、小林委員、川元委員、内藤委員、工藤委員</p> <p>担当所管(5名) 学 務 課 山田課長、木野田係長、松田主任、田畑専任指導員 生涯学習課 本間課長</p>		
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>ア.平成30年度 学校・教育委員会の取組について</p> <p>イ.いじめ把握のためのアンケートの結果について</p> <p>4 意見交換</p> <p>(1) いじめ問題への対応状況調査結果の公表について</p> <p>(2) その他</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 芦別市いじめ防止基本方針</p> <p>6 閉会</p>		

議 事	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶 いじめについては、今日の重要課題と捉え根絶に向けて対応していかなければならないが、特効薬がないのが現実。委員の皆様には今後ともご理解ご協力をいただきたい。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>ア.平成30年度学校・教育委員会の取組について (事務局) 平成30年度に実施した芦別市内小中学校と教育委員会のいじめ防止に関する独自の取組や北海道教育委員会等が主催する取組への参加について報告。</p> <p>イ.いじめ把握のためのアンケート結果について (事務局) 道教委が行っているアンケートで5・11月の年2回各学校において実施。今年度を含め過去4年間のいじめを訴えた児童生徒の推移・割合・具体的な内容について説明。芦別市におけるいじめの状況は増加傾向にあるが、要因の一つは、アンケート表記が「いじめを受けたことがある」から「嫌な思いをしたことがある」に変わったためと分析している。上記2回のアンケート結果を受け3カ月の見守り期間を過ぎたいじめの解消状況は、小学校で91.7%、中学校で94.7%となっている旨説明。 (委員) このアンケートの中に、両親からの虐待の項目を入れることは可能か。 (事務局) 道教委で実施しているアンケートのため、調整が必要になってくる。 (委員) 先程説明のあったアンケートの表記が変わったのは何故か。 (事務局) いじめとは「児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」と定義されていることから、いじめを広く捉えるために表記が変わったも</p>
-----	---

のである。

(委員)

具体的な内容の中で「たたく、ける」「悪口を言われる」などが多くなっているが、家庭でのしつけが問題ではないかと思う。子どもは親の背中を見て育つものなので、学校ばかりではなく家庭教育の必要性も考えなければならない。

(委員)

学校としては家庭環境をどの程度まで把握しているのか。

(委員)

参観日や家庭訪問などで保護者の方とお話をさせていただいたりしているが、学校としてはできる範囲で子供の様子を見ている。

(委員)

先程、いじめ解消の割合を教えてもらったが、全道との比較はできるのか。

(事務局)

全道との比較については、道内の小中学校は、いじめの定義が変わり広く認知する流れの中、半数がいじめ0で報告されている。これは、アンケートに基づき先生方が判断しているものであるが、芦別ではほとんどをいじめとして認知している。今後も、未解決の解消に向けて努力していく。

4 意見交換

(1) いじめ問題への対応状況調査結果の公表について

(事務局)

平成29年6月開催の本協議会において、「いじめ問題への対応状況調査結果の公表について」当時の委員の皆様の中で論議されたところですが、今日まで公表には至っておりません。教育委員会としては公表していく方向で考えていますが、公表するのが良いのか悪いのか、公表するとすればどのような内容にするかなど、委員の皆様の忌憚のないご意見をいただければと思います。

(委員)

調査結果を公表することによって、いじめられている子にどのような影響が出るのか考えなければならない。メリットはあるのか、デメリットだけならば公表する必要はないのではないか。

(委員)

一つ間違えればいじめている方がいじめられる可能性がある。

急いで公表して大きな問題になる可能性もあるので、すごく慎重に扱わなければならないと思う。

(委員)

実は、この件に関しての議論の発端は私である。芦別市のいじめってどういうものがあるのか、市民の皆さんは非常に関心を持っている。昔でいえばいじめに定義されないものでも、今ではいじめと認知して学校でも解消に向けて取り組んでいる。そういった学校での教員の努力も知ってほしいという意味で公表してはいかがかと問題提起した経緯がある。

(委員)

新年度からは、各中学校区にコミュニティ・スクールが導入される。今後どう展開していくかわからないが、コミュニティ・スクールを活用して地域全体で子どもたちの見守り活動を行うことにより、子どもたちの様子も把握でき、いじめの未然防止・解消に繋がるのでは。

(委員)

当事者を特定されない手法であれば公表しても良いのではないか。

(委員)

公表するのであれば、火に油を注ぐ結果とならないよう、範囲と内容をわきまえて公表すべき。芦別市内の学校は、小規模校ゆえに公表しなくてもわかってしまうことがあるので、すみ分けをして公表すべき。

(委員)

今の子どもたちは限度がわからない傾向にある。

(委員)

私は公表には前向きではない。個人を特定しないように配慮して公表したとしても、根掘り葉掘り調べていけば辿り着いてしまうことがある。デメリットが一つでもあれば公表しない方が良い。いじめの早期発見・早期解消に力を注ぐべき。

(会長)

委員の皆様、忌憚のないご意見をいただきありがとうございます。今ここで出された意見を総括し、集約することはございません。今日の皆様の意見を十分に参考にしながら、教育委員会として、いじめ問題への対応状況調査結果の公表について検討していきたいと思っております。

	<p>(2) その他</p> <p>(委員)</p> <p>いじめに関連したものではないが、熊の出没の際に教育委員会はどういった対応を取っているのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>市の農林課から教育委員会に情報が入り、電話や FAX など学校に情報提供しています。また、登録制になりますが、市の防災メールでも熊出没の際には随時周知を図っています。</p> <p>(会長)</p> <p>ありがとうございました。本協議会以外の取組に関しましても、何かございましたら教育委員会までご連絡ください。</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 芦別市いじめ防止基本方針</p> <p>(事務局)</p> <p>昨年7月の第1回目の協議会において承認いただき、その後、教育委員会会議に諮り決定した旨報告し、今後の活動の参考として決定版を委員の皆様へ配布した。</p> <p>6 閉会</p>
--	---